

今のわたしも、
未来のあなたも。

個人投資家向け 会社説明会

長瀬産業株式会社

証券コード:8012

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元など
4. まとめ

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元など
4. まとめ

誠実正道

【経営理念】

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に努める

▶ NAGASEの概要

創業

1832
年

連結売上高

9,449
億円

連結従業員数

7,484
名

格付(R&I)

A+

業態

商社

売上総利益 海外比率

54
%

拠点数

25 101
カ国・地域 社

特許出願数

約1,500
件

市場区分

プライム

自己資本比率

49
%

取引企業数

約18,000
社

時価総額

約4,500
億円

※2024年度実績

※2026年3月17日時点

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂の製造を開始 / Story 4 研究開発拠点の設立

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

1832年、長瀬伝兵衛が紅花や布海苔、澱粉を扱う京都・西陣で「鱗型屋」を創業。のちに、天然染料だけでなく、合成染料の取り扱いを開始したことで、化学業界での基盤を確立した。



初代 長瀬伝兵衛



紅花

NAGASEグループのイメージソング「Safflowers」
<https://www.youtube.com/watch?v=X4wDZ92IIAM>

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

輸入を通じて海外の製造技術を国内に持ち込む

チバ社 : 化学 機能素材

デュポン社 : 塗料 機能素材

チバ社 : エポキシ樹脂 電子・エネルギー

イーストマン・コダック社 : 映画用フィルム ※ 電子・エネルギー

※後にフィルム現像技術を半導体に応用

ゼネラルエレクトリック社(GE社): 樹脂 加工材料

モビリティ

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂を製造開始

Story 4 研究開発拠点の設立

Story 3

1970年
チバ社と合併会社
長瀬チバ(現 ナガセケム
テックス)を設立。
のちに完全子会社化

電子・エネルギー

機能素材

製造機能



長瀬チバ(現 ナガセケムテックス)

Story 4

1990年に
ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオイノベーシ
ョンセンター)
2007年に
ナガセアプリケーションワー
クショップを設立

研究開発機能



ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオ
イノベーションセンター)

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

2012年に林原(現 ナガセヴィータ)、
2019年には米国のPrinovaグループを買収し、
食品素材ビジネスを本格化

生活関連



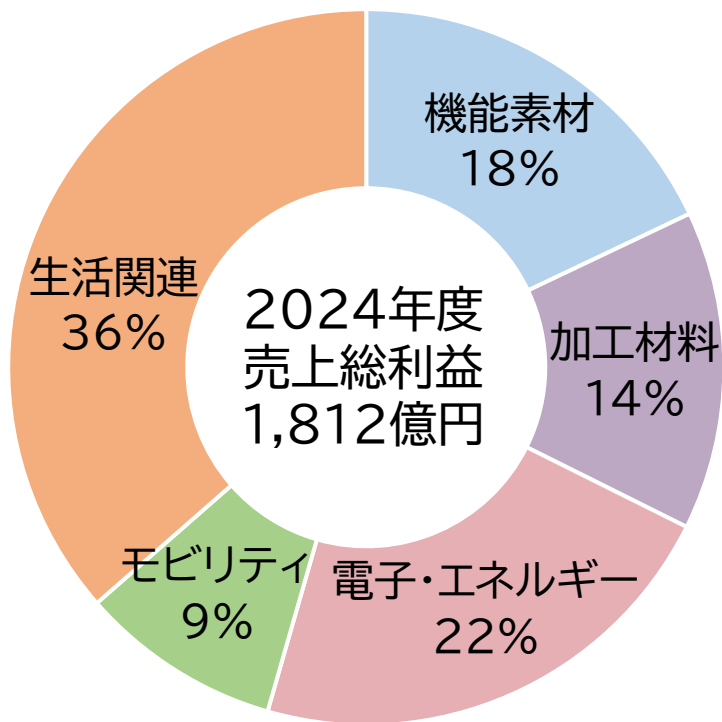
林原(現 ナガセヴィータ)



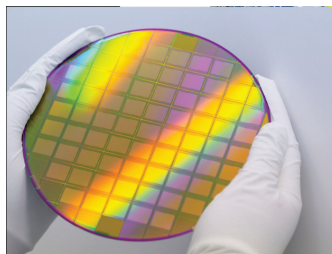
Prinovaグループ

▶ 5つの事業セグメント

自動車、電子機器、土木・建設、化粧品や食品関連など様々な業界に対し、川上から川下まで幅広く事業を展開



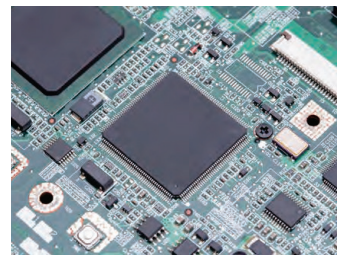
機能素材



加工材料



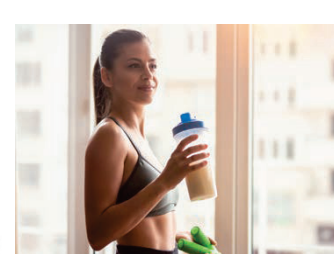
電子・エネルギー



モビリティ



生活関連



※ セグメント別構成比の計算には、その他・全社、連結調整を含まず

機能素材セグメント

- 化成品事業を基盤として高機能素材を提供
- 塗料・インキ、ウレタン、半導体などの業界向けに事業を展開

強み

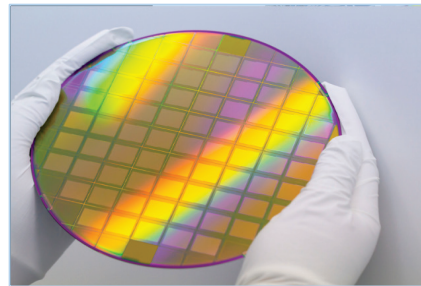
- 長年維持してきた圧倒的シェアに裏付けられるサプライチェーンマネジメント機能
- 長年培った取引先との強固な信頼関係と業界・化学品への深い知見
- グローバルネットワークや課題解決力、専門性

身の回りの製品例

- 自動車や建築用の塗料原料
- 半導体の材料
- 建築用の断熱材原料
- 自動車のシートのウレタン原料
- おむつの原料



塗料・インキ用添加剤



半導体材料



ウレタン原料



SAP(高吸水性ポリマー)原料

加工材料セグメント

- OA機器や電機・電子業界を中心に幅広い業界に合成樹脂を販売
- ナガセアプリケーションワークショップとの連携で付加価値を拡大

強み

- 技術的知見・情報やノウハウ
- サプライチェーンネットワーク
- アジアパシフィックでの充実したサプライヤーおよび顧客基盤

身の回りの製品例

- OA、PCなどに使用される樹脂
- 化粧品容器やカップの樹脂
- 工業用ホース、土木用パイプなど



樹脂ペレット



プリンターの筐体



樹脂製のカップ



工業・土木用パイプ

電子・エネルギーセグメント

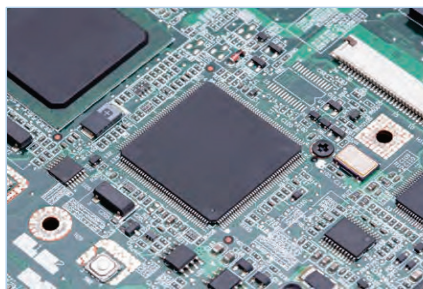
- 半導体や電子デバイスなどの業界の潜在的なニーズを先取りし、グループの製造機能を活用し、オリジナリティの高い製品を提供

強み

- 商社機能とメーカー機能が融合した製販一体体制
- メーカーとしての技術力・開発力を背景としたソリューション提供
- 顧客ニーズを的確に反映した商材探索・提案

身の回りの製品例

- PC、スマホ、タブレットなどの液晶材料
- PC、スマホ、タブレットなどの電子部品材料
- 半導体に使われる材料



変性エポキシ樹脂



半導体材料



ディスプレイ材料

モビリティセグメント

- 自動車の内外装の樹脂や、EV、ハイブリッド車用などのカーエレクトロニクスに関わる商品を扱う
- 自動運転社会の到来を見据えセンサー・電子デバイスへの事業展開を図る

強み

- 幅広い商品群
- 製品・技術の発掘力とグローバルサプライチェーン構築力
- 取引先との強固な信頼関係

身の回りの製品例

- 自動車の内外装などに使われる樹脂
- 車内エレクトロニクス用の製品
- 自動運転用のセンサー部品
- 電動化用の製品
- 車載ディスプレイ関連部材
- リチウムイオン電池材料 など



自動車内装



自動車外装



カーエレクトロニクス
関連部材

生活関連セグメント

- 食品素材、化粧品素材、医薬品原料など景気変動を比較的受けにくい事業を行う
- ナガセヴィータとPrinovaグループを軸にフード事業の拡大を図る

強み

- 業界トップクラスの顧客基盤とグローバルな事業基盤
- グループ内の商社機能、製造機能、研究開発機能を活かす総合力
- 高度な専門知識を有する人財

身の回りの製品例

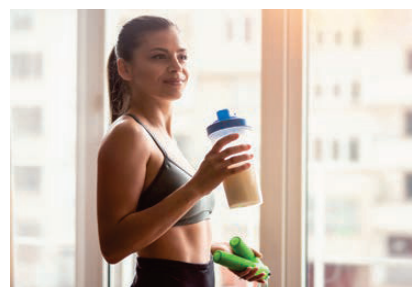
- 食品に含まれる糖質
- 化粧品の原料
- ビタミン、アミノ酸、甘味料などの食品添加物
- プロテインなどのスポーツニュートリション
- 医薬品原料など



食品素材



化粧品素材



スポーツ
ニュートリション



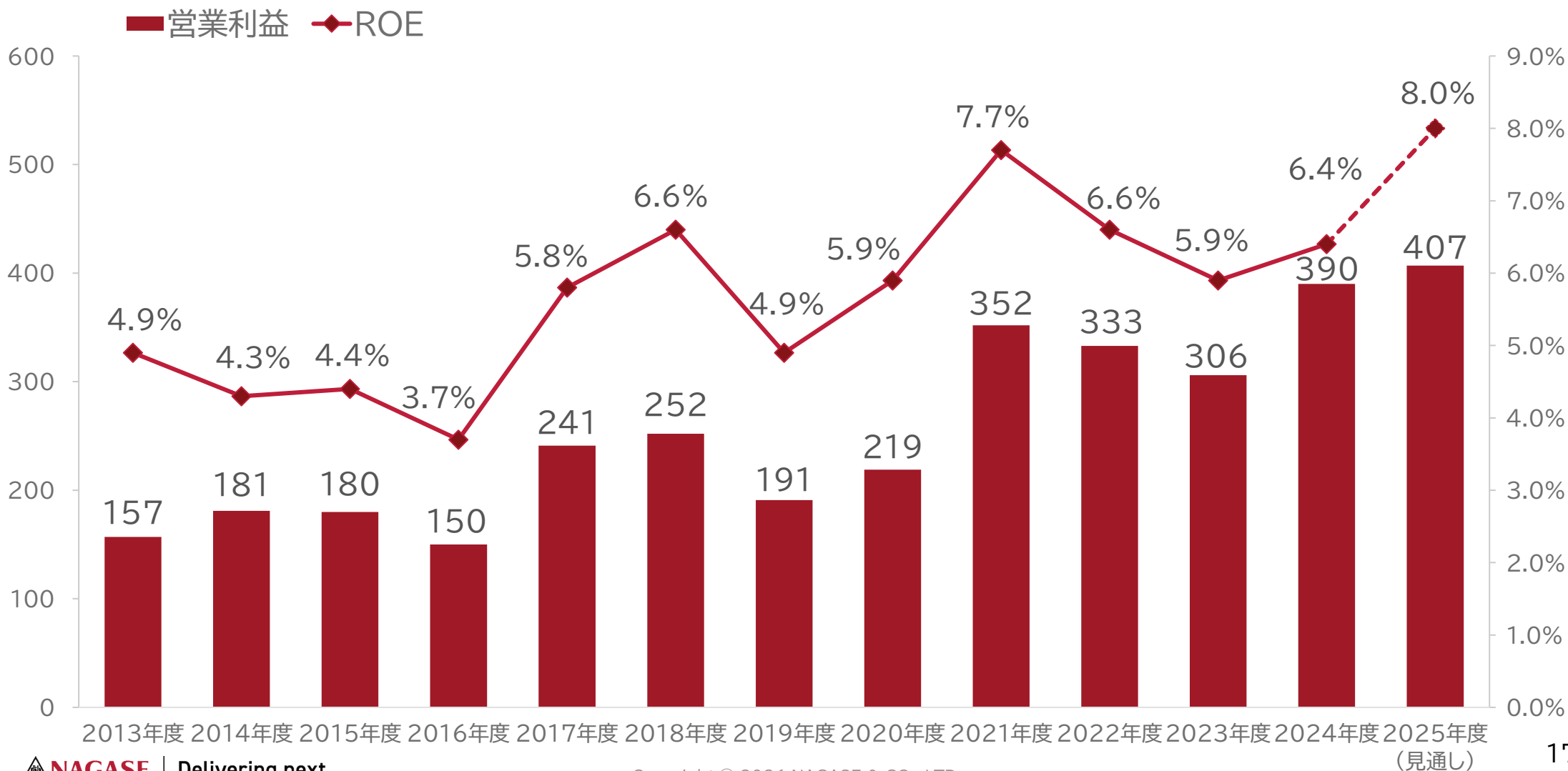
中間体・医薬品原料

業績の推移と見通し

- 2024年度は過去最高益を更新
- 2025年度も増益見込みであり、ROE8.0%以上を目指す

営業利益:億円

ROE:%



INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元など
4. まとめ

▶ NAGASEグループのユニークな機能

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社



商社機能

パートナーとの課題解決

- ・情報の目利き力
- ・課題の探索とマッチング
- ・グローバルネットワーク

製造機能

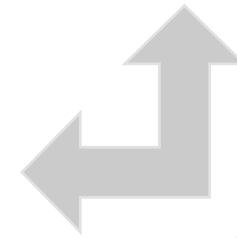
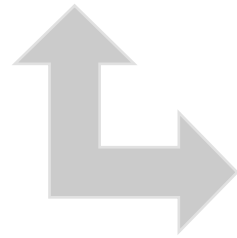
自社製品による課題解決

- ・独自の素材や技術
- ・製造、品質管理
- ・素材のカスタマイズ



研究開発機能

新素材の開発による 課題解決



顧客・社会の
課題やニーズ

サステナブル
な社会の実現

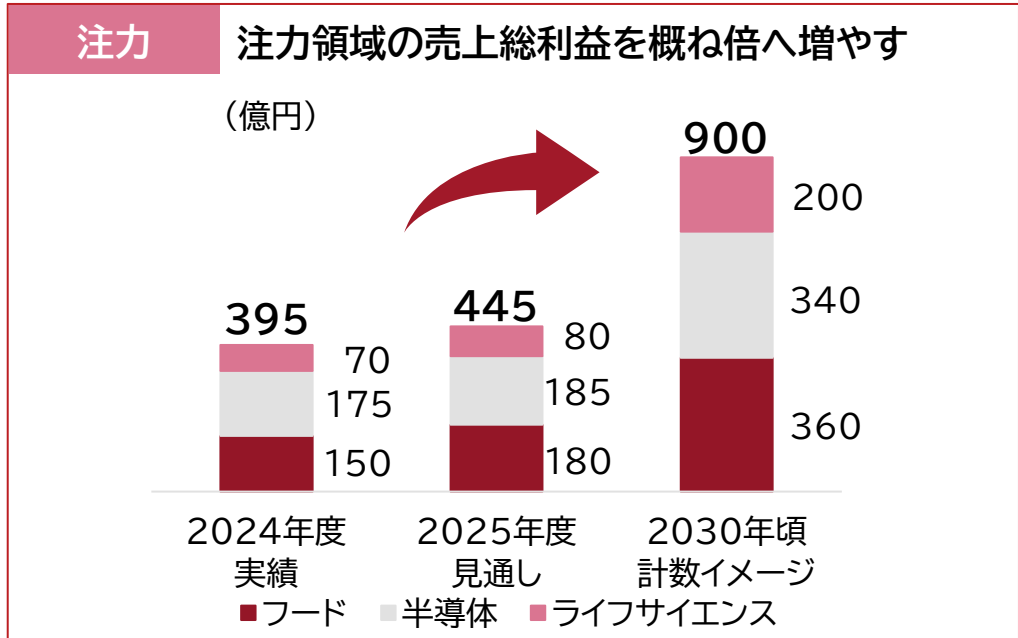
▶ 将来に向けた成長戦略

- 基盤事業である商社機能から生み出された経営資源や情報を注力・育成領域で活用する
- 注力・育成領域に対する潜在的な投資額は約800億円
- 中長期的な利益規模・利益率の向上を狙う



基盤 注力領域と育成領域の強化に繋がるキャッシュと付加価値の高い情報を獲得

育成 将来の収益源となる分野で、新たなチャレンジを進める








改善 損失を削減

ROIC

※ 2025年度より、Prinovaグループにおいて製造原価と販売費及び一般管理費の区分を一部変更しております。2024年度本決算時点では2024年度実績について変更後の概算値を用いておりましたが、2025年度 第1四半期時点で確定値へ差替えております。

▶ 注力領域について

注力領域	主な製造機能	ビジネスの機会
特定分野の製造機能		
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

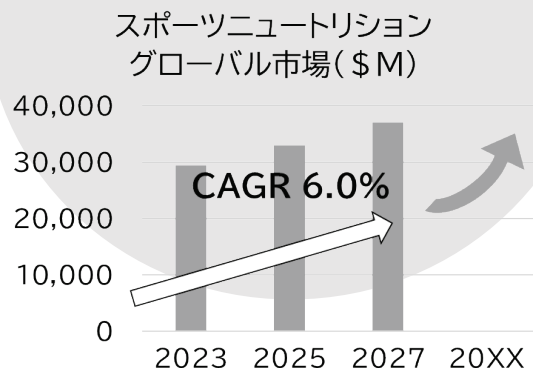
▶ 注力領域について

注力領域	主な製造機能	ビジネスの機会
特定分野の製造機能		
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 フード分野の製造機能

【社会課題】

- ・世界的な健康志向の高まり
- ・フードロスに対する課題意識



引用元: © Statista 2023のデータをもとに当社作成

収益性の高い製造加工ビジネスを拡大する

健康寿命の延伸
フードロスの低減

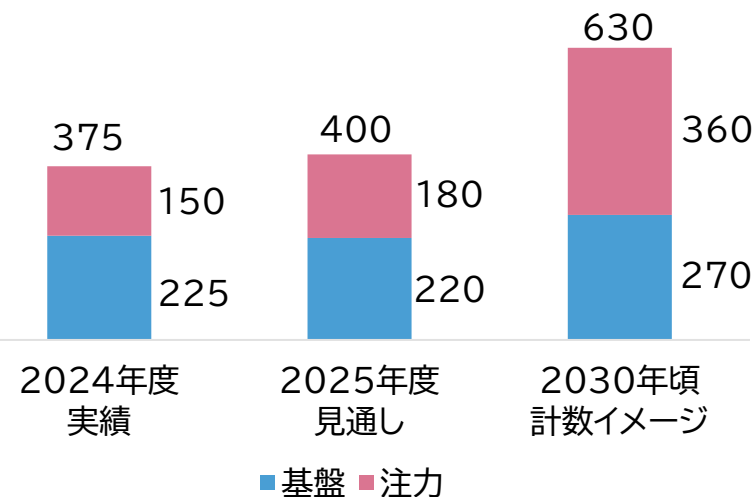
- ・ 拡大する**スポーツニュートリション市場**に対して米国Prinovaの製造機能を活用してビジネスを展開
- ・ 健康志向の消費者など**新たなカテゴリー**の開拓にも取り込む
- ・ 食品素材における**独自の調達力**を活かし、北米、欧州に続き**南米、アジアへの事業拡大**を進める
- ・ ナガセヴィータが製造する**自然由来の多機能糖質 トレハロース**のビジネス拡大



- ・ 成長性の高いスポーツニュートリション市場との接点
- ・ **グローバルをカバーする販売網**
- ・ **M&Aの経験とノウハウ**
- ・ ワンストップで調達から製造まで提供できるビジネスモデル

- ・ 食品素材、パーソナルケア素材、医薬品素材などバイオテクノロジーをベースに幅広い事業を展開
- ・ 自社製造の機能性食品素材を含む多様な素材ラインナップ
(自社素材: **トレハ®**、**ファイバリクサ®**、**ヘスペリジン**等)

フード分野の売上総利益 (億円)



▶ スポーツニュートリション市場の動向

米国ではマーケットが細分化され、利用ユーザー層も拡大

ユーザー層



プロフェッショナル/ボディビルダー・スポーツ選手等
(競技人口:少 × 摂取頻度・量:大)

一般生活者/スポーツ愛好家・ウィークエンドアスリート
(競技人口:中~大 × 摂取頻度・量:中~大)

製品イメージ



Pea Protein
大豆アレルギー
対応品



Beauty
健康維持
美容と健康



GREENS
ビタミン等の
栄養素

▶ フード分野における投資

ブラジルにおけるフード事業拡大に向け Aplinova 社を買収

～グローバルサウスにおける顧客チャネル基盤の拡大へ～



Aplinovaについて

所在地：ブラジル・サンパウロ

事業内容：プレミックス、フレーバー、着色料、粉末油脂等の食品向け素材・加工品の販売・受託製造

拠点：本社、工場、物流センター

従業員数：79名



買収の目的

- ✓ グローバル展開の一環として、南米市場を強化
- ✓ Aplinova社の顧客基盤1,000社超で顧客チャネルを拡大
- ✓ Prinovaグループのアミノ酸・ビタミンなどの販路を拡張



規模

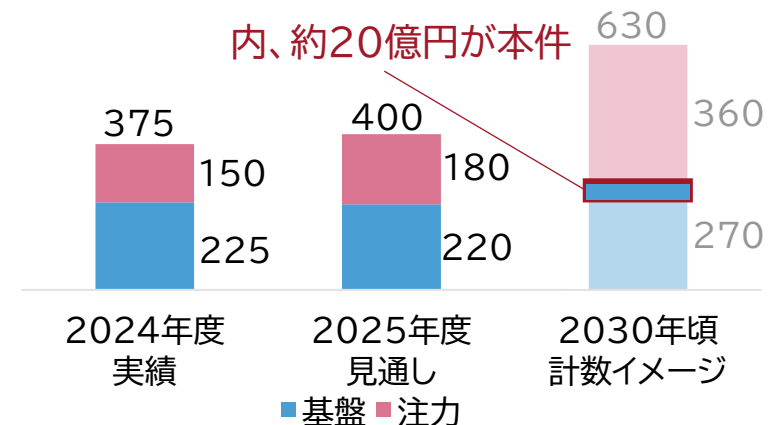
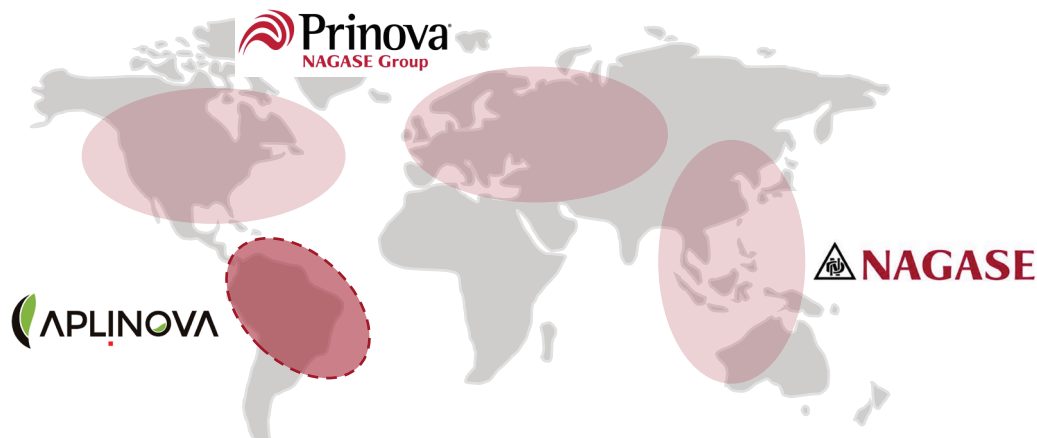
- ✓ 2030年度の売上総利益約20億円を目指す
- NAGASE:フード分野の売上総利益（億円）



スキーム

Prinovaによる全株式取得

Prinova顧客の南米展開を
Aplinovaを通じてサポート

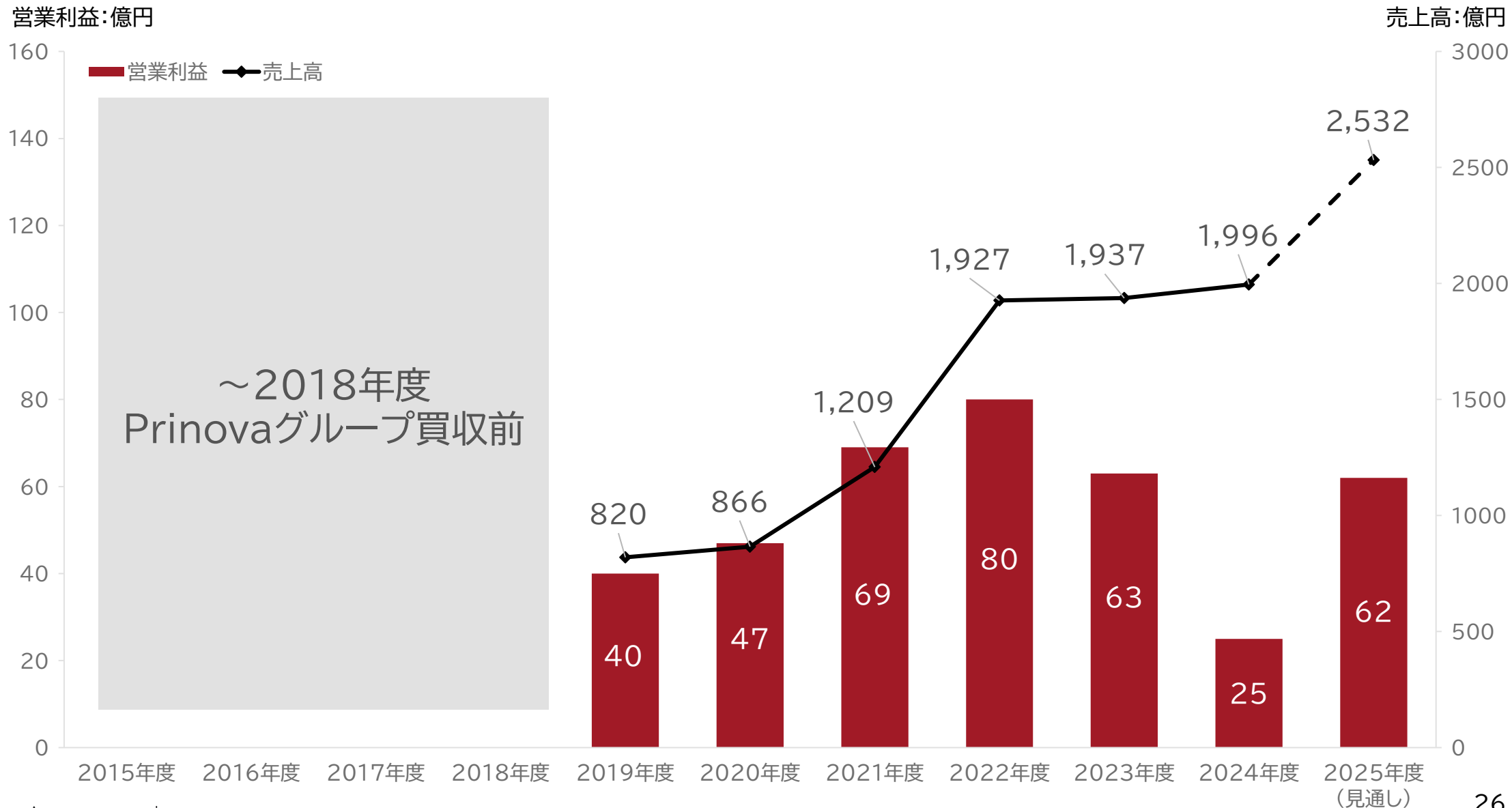


※ 2025年度より、Prinovaグループにおいて製造原価と販売費及び一般管理費の区分を一部変更しております。2024年度実績も含め当該変更による組替え反映後の概算値となります。

▶ Prinovaグループの業績推移と見通し

2019年度の買収以降、売上高は倍以上へ成長

営業利益はNutrition事業が足元苦戦しており減益傾向も、2025年度は回復見通し



▶ ナガセヴィータのフード分野の事業 Nagase Viita

ナガセヴィータ株式会社

- 長年培った**酵素利用技術**と**バイオテクノロジー**を活用した**自然由来の食品素材**により、**食のサステナビリティ**を推進する

特に強みをもつ製品

- **トレハロース**:キノコ類や酵母に含まれる天然の糖



食品に加えることで、品質を安定させるなどの効果を与える**多機能糖質**和洋菓子や冷凍食品などに使用されている

ナガセヴィータが世界初のトレハロースの大量生産技術を開発

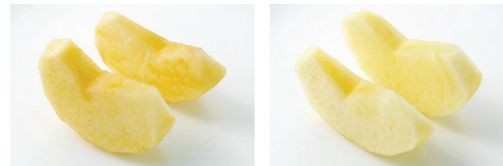
トレハロースの主な機能

でん粉老化抑制



不使用 トレハ®使用
(生米に対して10%)

野菜などの
変色の抑制



無処理 トレハ®10%
水溶液処理

たんぱく質
変成抑制




不使用 トレハ®使用
(卵重量の3%)

結晶性



不使用 トレハ®使用

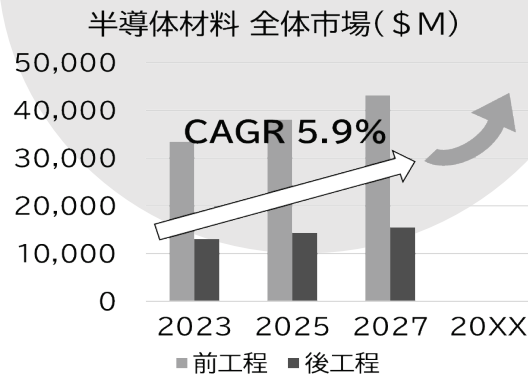
▶ 注力領域について

注力領域	主な製造機能	ビジネスの機会
特定分野の製造機能		
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 Nagase ChemteX ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 半導体分野の製造機能

【社会課題】

- ・AI用最先端半導体の需要増
- ・環境意識の高まり



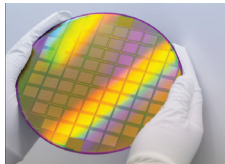
引用元: 富士経済のデータをもとに当社作成

生成AIサービスの普及で急成長している
最先端半導体市場において
高付加価値製品の販売をさらに拡大

最先端半導体の製造に
欠かせない高付加価値な
素材を提供

- ・ AIなど最先端半導体用の封止材で、業界標準の地位を確立
- ・ 国内初となる半導体製造工程で使用された現像液を回収・再生するシステムを推進、拡大
- ・ Rapidus株式会社の取りまとめ業者などで商権をさらに拡充、海外展開にも活用
- ・ 化学品取扱(運送・保管、輸出入)のノウハウ、サプライチェーンマネジメントの強化

Nagase ChemteX
ナガセケムテックス株式会社



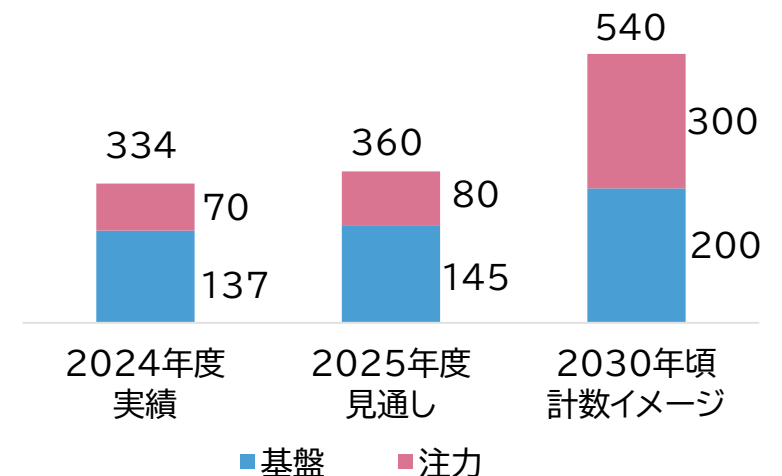
- ・ エレクトロニクスやケミカルなどの領域で独自の技術を持つ製造会社
- ・ 長年にわたり独自の合成技術・配合技術・評価技術を蓄積
- ・ 半導体の封止材等に用いられる変性エポキシ樹脂等の高機能樹脂
- ・ 半導体や液晶製造の微細加工などで使用されるプロセスケミカルの薬液

SN Tech
(旧) Sachem グループ

- ・ 現像液の回収・再生事業



半導体分野の売上総利益 (億円)



▶ 半導体分野の強み

- ・当社主催のセミナーを開催
社外より140名が参加し、
最新動向の共有と人脈を形成
- ・国内、海外の研究機関と連携

Rapidus(株)の材料輸送のとりまとめなどにより
最新の業界動向を把握
海外への輸出拡大、海外品の輸入販売



△ Nagase ChemteX
ナガセケムテックスの液状封止材
は先端半導体用途での業界標準
これに続く次の業界標準の創出へ

300社以上の半導体関連メーカー
との取引実績

半導体薬液リサイクルシステムを
業界大手のお客様へ販売
TMAH※の安定供給と
環境負荷低減を実現

戦略地域の拡大
日本・台湾・米国・欧州
・韓国・中国・インド(近い将来)

※TMAHは全デバイスに使用される
材料で、「環境×材料」での重要な原料



▶ 半導体業界でのバリューチェーン

半導体材料

シリコンウェハ
- 前々工程










半導体チップ
- 前工程

半導体パッケージ
- 後工程

機能素材セグメント









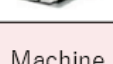
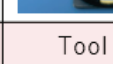


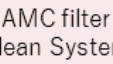
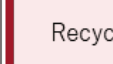
電子・エネルギーセグメント

 Nagase ChemteX
ナガセケムテックス株式会社

Monomer 	Polymer 	Photosensitive Material 
Photoresist	Photoresist DAF	Photoresist
Process Chemical 	Epoxy 	Filler 
Wafer	CCL, EMC	CCL, EMC, CMP
Solvent 	Glass 	Additive 
CMP, CCL	CCL	Resist, CCL, EMC, CMP, DAF


Ingot 	Slicing 	Lapping 
Poly Silicon Dopant	Wire Coolant	Powder Coolant
Etching 	Edge Polishing 	Polishing 
Chemical	Tool Tape	Slurry Pad
Cleaning 	Sorting Packing 	
Machine Cleaner	Tools Clean Bag	

SN Tech

Wafer 	Deposition 	Mask 
Wafer Reclaim	Gas Precursor Gas cabinet	Antistatic Agent /Pellicle
Lithography 	Etching Cleaning 	CMP Cleaning 
Photoresist Chemical	Tool Chemical Coolant	Slurry Brush Cleaner
Inspection 	Sorting Packing 	
Machine 	Tool Wafer case 	
Environment Control 	Chemical Recycle 	
AMC filter Clean System 	Recycle 	

SN Tech

Carrier 	Temporary Bonding 	Molding 
Glass Carrier	TBA/TBF	LMC ETFE Film
RDL 	E-less plating 	Bumping 
Wet Chemical Polyimide	E-less Plating	Solder Ball Placement Electro Plating
Bonding 	Probing 	tools 
LAPLACE-FC	Probe Card Cleaning Sheet	Wafer Handling Tolls
Environment Control 		
AMC filter Clean System		

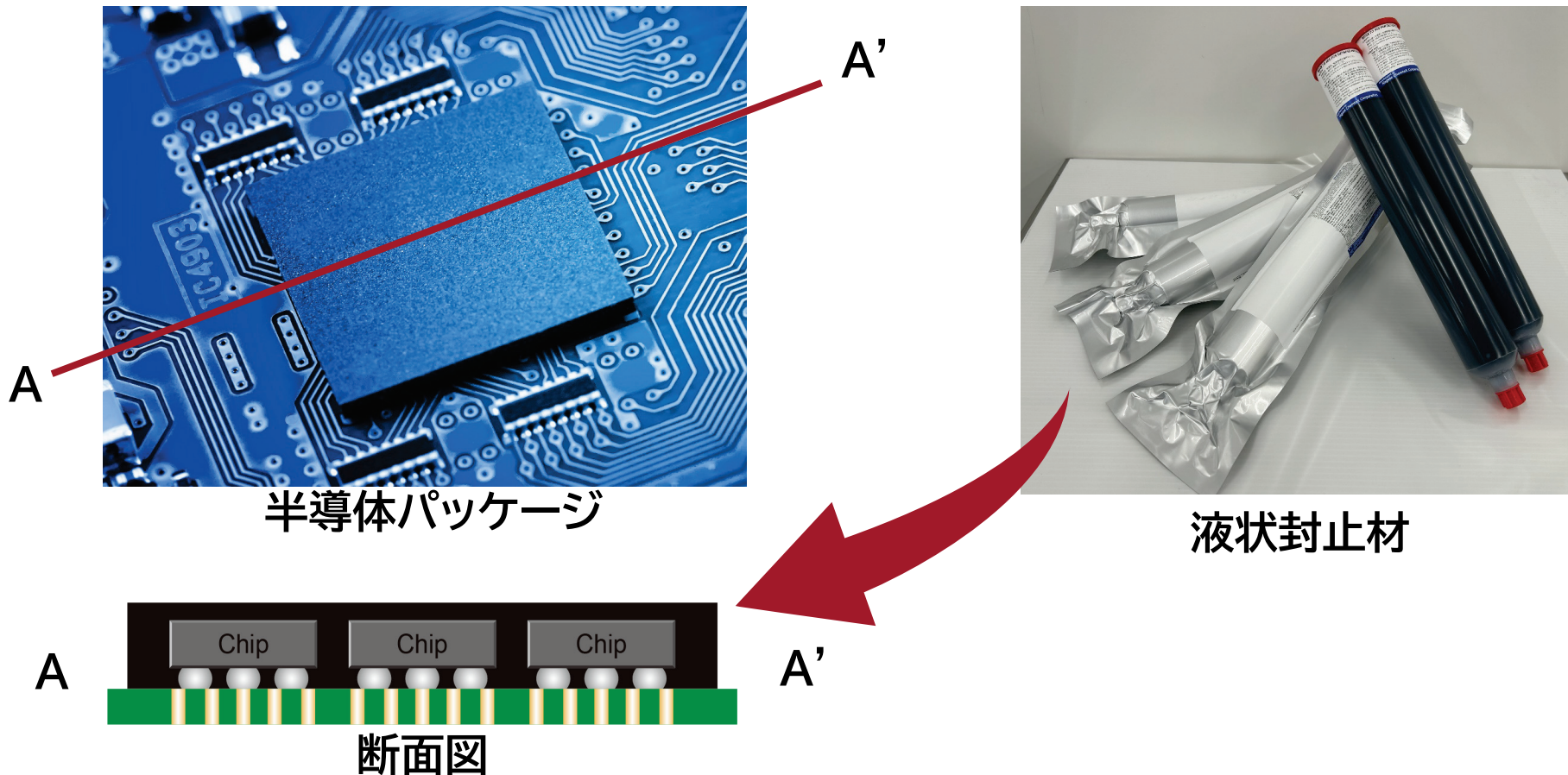
 PacTech

化学品

半導体

▶ 半導体の封止材におけるNAGASEの強み

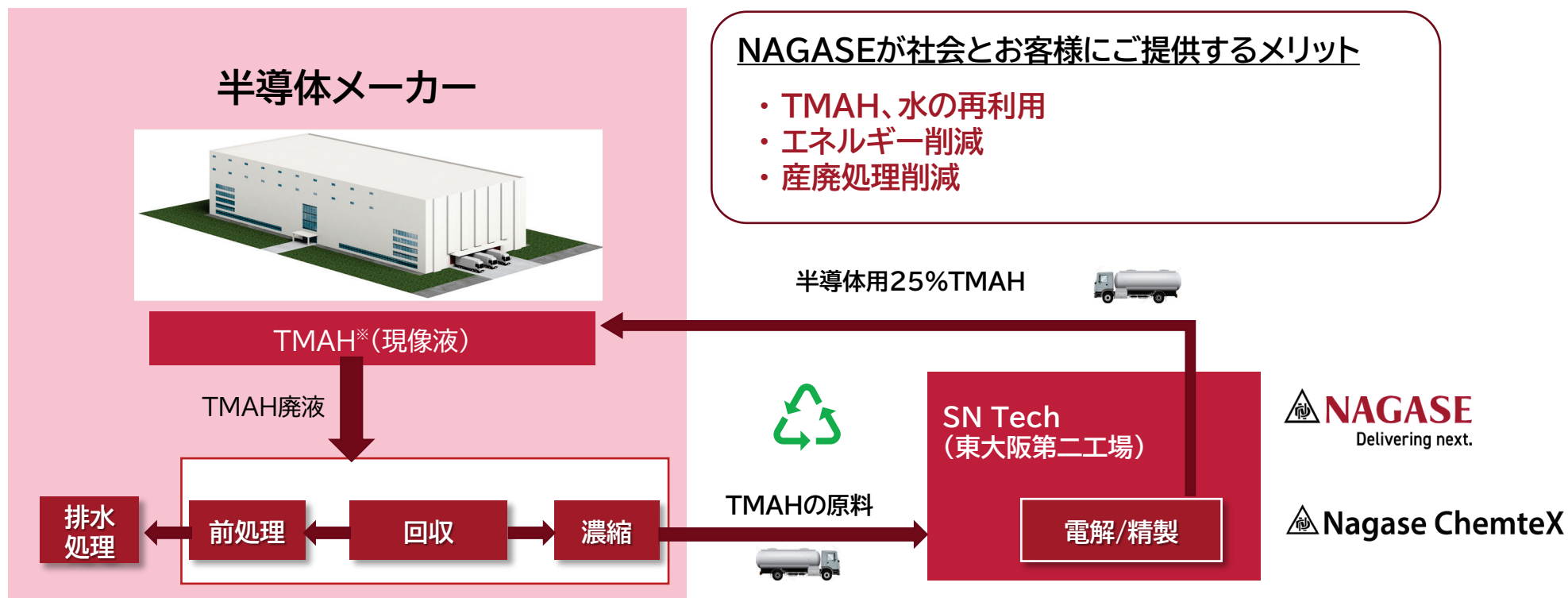
AI用の最先端半導体向けの**液状封止材**で圧倒的なシェアを誇る



▶ 半導体製造プロセスにおける現像液の回収・再生事業






国内初 半導体製造に使用される現像液の回収・再生を事業化

今後生産量が増加していく半導体業界に対して、製造プロセスによる環境負荷低減へのソリューションを提供



※ 半導体やフラットパネルディスプレイの製造工程で使用される現像液
テトラメチルアンモニウムヒドロキシド

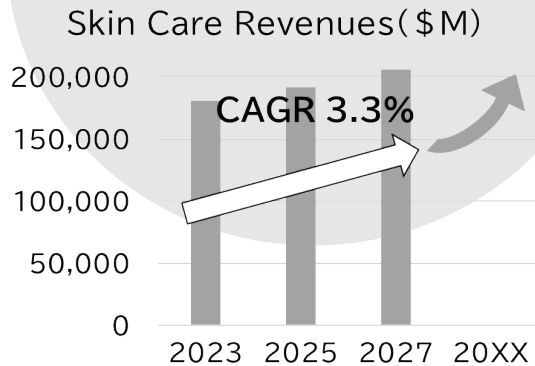
▶ 注力領域について

注力領域	主な製造機能	ビジネスの機会
特定分野の製造機能		
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 ライフサイエンス分野の製造機能

【社会課題】

- ・高齢化社会・健康志向の高まり
- ・サステナビリティへの意識の高まり



引用元: © Statista 2023のデータをもとに当社作成

Nagase Viita

ナガセヴィータ株式会社



- ・ 酵素利用技術とバイオテクノロジーを活用した安心安全なバイオ由来素材を提供
- ・ 食品素材の医薬品素材への用途展開を推進

Nagase Diagnostics

ナガセダイアグノスティックス株式会社



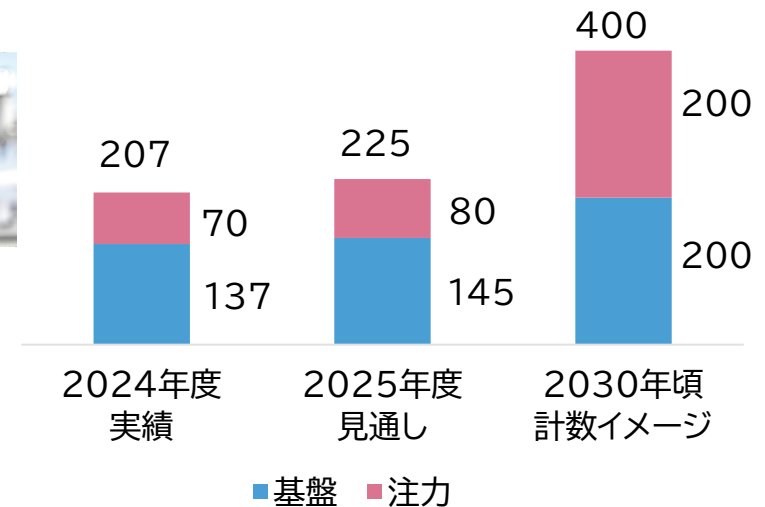
- ・ 成長市場の診断薬分野での製品ラインナップ拡充
- ・ NAGASEグループのネットワークと統合し販売拡大
- ・ 高感度な酵素技術×NAGASEの研究開発力で新製品開発

サステナビリティへの意識が加速するライフサイエンス市場において市場トレンド・顧客ニーズに合った自社素材を提供していく

安心安全なバイオ由来素材の提供

- ・ナガセヴィータの素材・技術で医薬品、化粧品領域での事業を拡大 (AA2G®、プルラン、トレハロースSGなど)
- ・ナガセダイアグノスティックスの診断薬・診断薬酵素の海外への拡販推進
- ・ナガセダイアグノスティックスとナガセヴィータの酵素ライブラリの掛け合わせによる新製品の開発

ライフサイエンス分野の売上総利益(億円)



▶ ナガセヴィータのライフサイエンス分野の事業

- 酵素利用技術とバイオテクノロジーを活用した安心安全なバイオ由来素材を提供
- 食品素材の医薬品素材への用途展開を推進

特に強みをもつ製品

● AA2G®



自然由来の安定型ビタミンCで、ビタミンCと酵素、でん粉が原料
国内外で、スキンケア化粧品に配合されている

● トレハロースSG



医薬品添加剤用のトレハロース
需要が高まる抗体医薬品の品質安定性向上に貢献

● プルラン



微生物が作り出す多糖
フィルム形成性を有するため医薬品カプセル市場に展開

▶ ライフサイエンス分野における投資

旭化成ファーマ(株)の診断薬事業などを買収

～酵素製造と販売網の拡大、研究開発でのシナジー～



対象事業について

専門人材と先端設備
高シェアで強固な顧客基盤

所在地：静岡県

事業内容：診断薬および診断薬用酵素の開発、製造、販売
事業。診断薬用酵素原料および医薬品原薬製造

拠点：大仁医薬工場と統括センター

従業員数：205名



スキーム

旭化成ファーマ(株)が対象事業を会社分割(新設分割)した新会社の
全株式取得



買収の目的

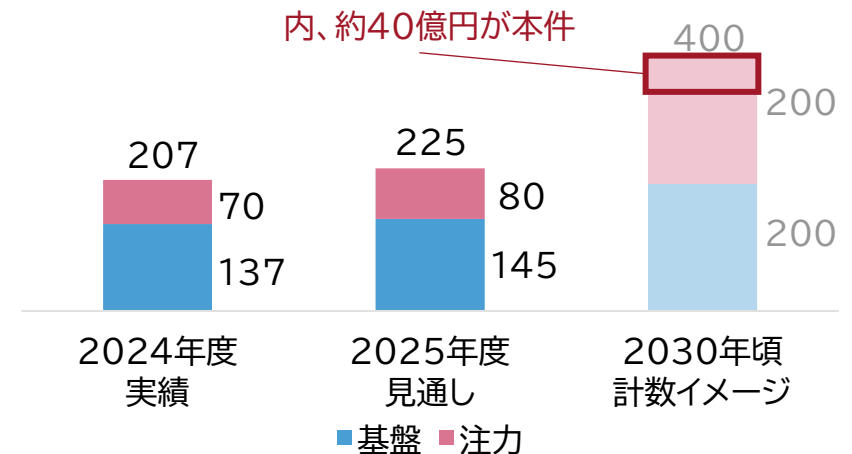
- ✓ 成長市場の診断薬分野での製品ラインナップ拡充
- ✓ NAGASEグループのネットワークと統合し販売拡大
- ✓ 高感度な酵素技術×NAGASEの研究開発力で新製品開発



規模

- ✓ 2030年度の売上総利益約40億円を目指す

NAGASE: ライフサイエンス分野の売上総利益 (億円)



▶ 研究開発(バイオ技術)の取り組み

抗酸化効果を持つエルゴチオネインの発酵法を用いた量産化を目指す

エルゴチオネイン

- ✓アミノ酸の一種でキノコ等に含まれる天然成分
- ✓強い抗酸化作用を有し、高い安全性が担保されている

期待される効果は？

- ✓認知への効果
- ✓肌しわ・シミの改善
- ✓快適な睡眠



バイオ由来の高吸水性ポリマーの開発に成功、事業化を目指す

生分解性SAP

- ✓でん粉を主成分としながら、高い吸塩水性能を実現
石油由来品と同等レベル、他社の生分解性SAPの6倍超
- ✓土壌や海水での分解が可能

SAP(高吸水性ポリマー)とは？

高い吸水性能を有する高分子材料で、紙おむつや、農業、緑化分野や化粧品など幅広い分野で使用されている石油由来品が主流で、環境負荷が大きいことが課題

ナガセをさがせ。

おむつ問題は、
水に流そう。

年間約193億枚^{※1}の乳幼児用と大人用あわせて膨大な量が生産されている紙おむつは、使用後ほとんどが焼却処分されています。その際にCO₂を大量に排出することから、環境への影響が懸念されてきました。そこでNAGASEは、でんぷんを原料に使った「生分解性SAP(高吸水性ポリマー)」を開発。従来と同等以上の吸水性能を実現しながら、土壌や海水での分解を可能に^{※2}。実用化すれば焼却処理の量を大幅に減らせるため、環境負荷も削減できます。社会の課題をマテリアルで解決し、世界のパートナーと進めよう。未来を創造する。私たちはNAGASEです。

高吸収 バイオ由来 生分解性

NAGASE
Delivering next.

※2023年10月31日「日本経済新聞」へ出稿

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元など
4. まとめ

▶ 株主還元方針

- 資本の増加を抑制し、ROE8.0%以上の達成を確実なものとするため、2024年度、2025年度の限定措置として総還元性向100%とすることを決定

(ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100)

従来方針

新方針(～2025年度)

総還元
性向

—

100%

配当

原則継続増配

原則継続増配

※変更なし

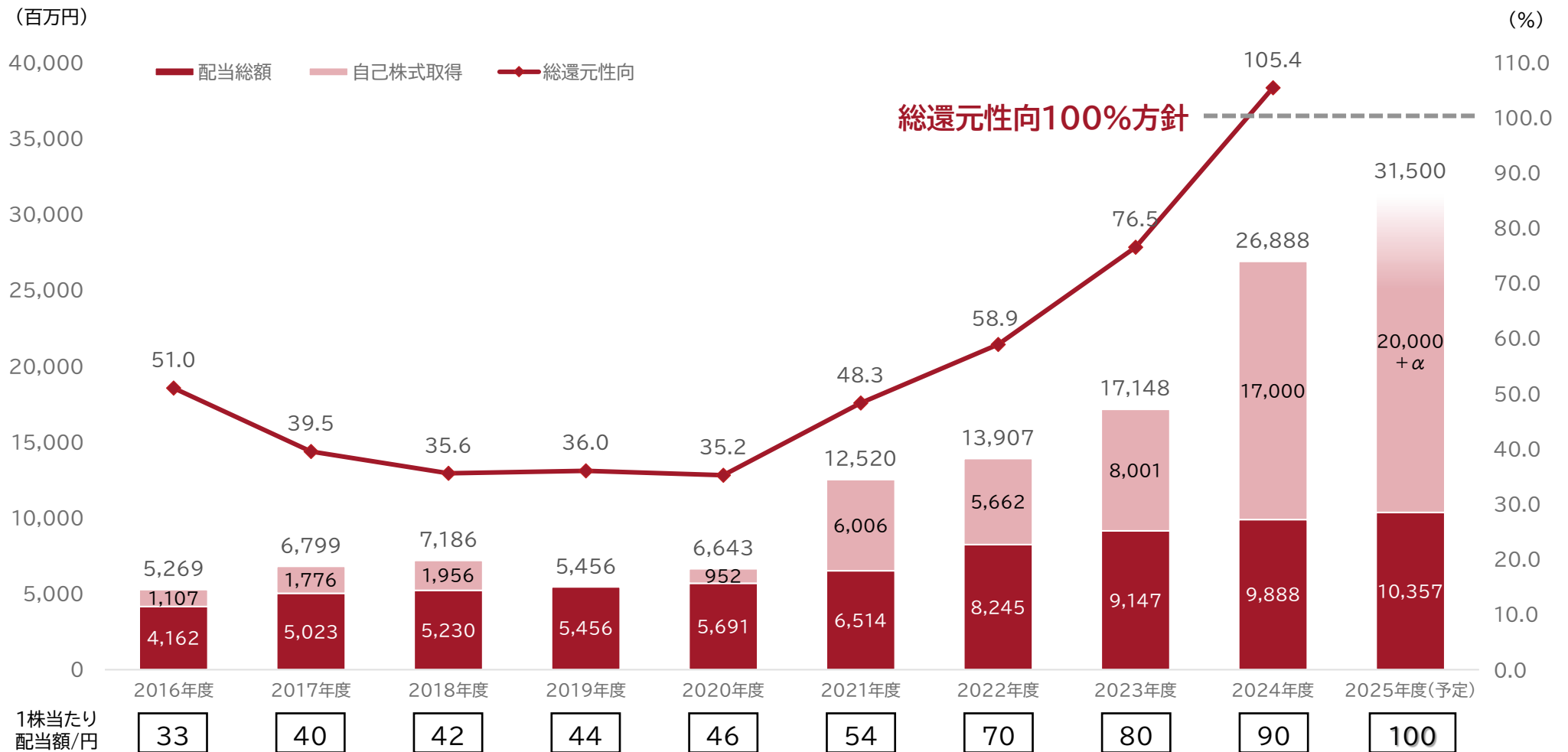
自己株式
取得

政策保有株式の売却額を
上限とし、機動的に実施

機動的に実施

▶ 株主還元方針

- ▶ 2025年度の1株当たり配当金は期末配当を当初予定の50円から5円増配し、中間45円、期末55円の年間100円を予定(16期連続増配見通し)
- ▶ 2024年度に引き続き、2025年度においても総還元性向100%の方針に変更なし
- ▶ 自己株式取得を200億円実施済
- ▶ 2026年2月に30億円の自己株式取得を決議(期間:2026年2月~2026年3月を予定)



※ 2025年度の期末配当金は、2026年6月開催予定の第111回定時株主総会に附議予定です。

▶ 株式分割の実施

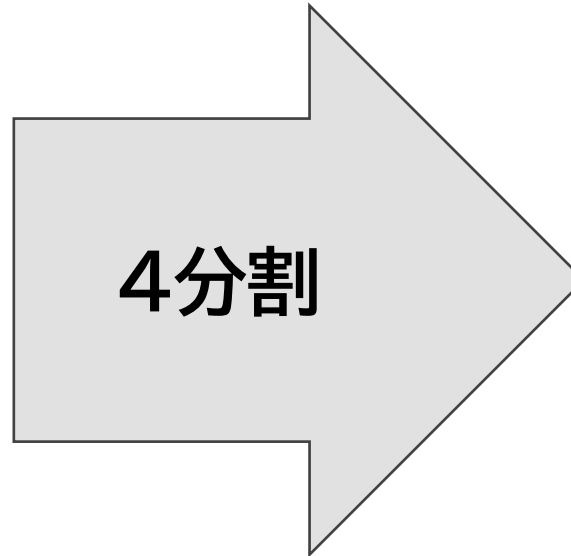
- 2026年3月31日を基準日として、2026年4月1日付で1株につき4株の割合で分割する
- 最低投資金額を引き下げ、投資家層の拡大を図る

～2026年3月31日

2026年4月1日～

発行済株式総数:1.1億株

1単元
100株
約40万円



発行済株式総数:4.4億株

1単元
100株
約10万円

配当・株主優待
について

2026年3月31日を基準日とする2025年度期末配当・株主優待は、分割前の株式数を基準に実施する

▶ 2026年 株主優待

- 保有株数・継続保有期間に応じて、電子マネーを贈呈
- 電子マネーは複数種類から選択可能

2026年 株主優待

		継続保有期間	
		半年以上3年未満	3年以上
保有株数	100株以上 300株未満	電子マネー (1,500円相当)	電子マネー (3,000円相当)
	300株以上	電子マネー (5,000円相当)	電子マネー (10,000円相当)

基準日:毎年3月31日

ご案内の発送は6月上旬

継続保有は同一株主番号で100株以上の保有が条件

▶ 2027年 株主優待

- 保有株数・継続保有期間に応じて、電子マネーを贈呈
- 電子マネーは複数種類から選択可能

株式分割後2027年 株主優待

(下線変更箇所)

		継続保有期間	
		半年以上3年未満	3年以上
保有株数	<u>400株以上</u> <u>1,200株未満</u>	電子マネー (1,500円相当)	電子マネー (3,000円相当)
	<u>1,200株以上</u>	電子マネー (5,000円相当)	電子マネー (10,000円相当)

基準日:毎年3月31日

ご案内の発送は6月上旬

継続保有は同一株主番号で100株以上の保有が条件

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元など
4. まとめ

▶ まとめ

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社

事業内容

フード・半導体・ライフサイエンス・電子デバイス・モビリティ・化学工業市場におけるものづくりの課題を商社機能、製造機能、研究開発機能を活かして解決

成長性

フード・半導体・ライフサイエンス分野の製造機能、バイオ分野の研究開発機能にリソースを集中注力・育成領域に対する2023年度以降の潜在的な投資額は約800億円

安定性

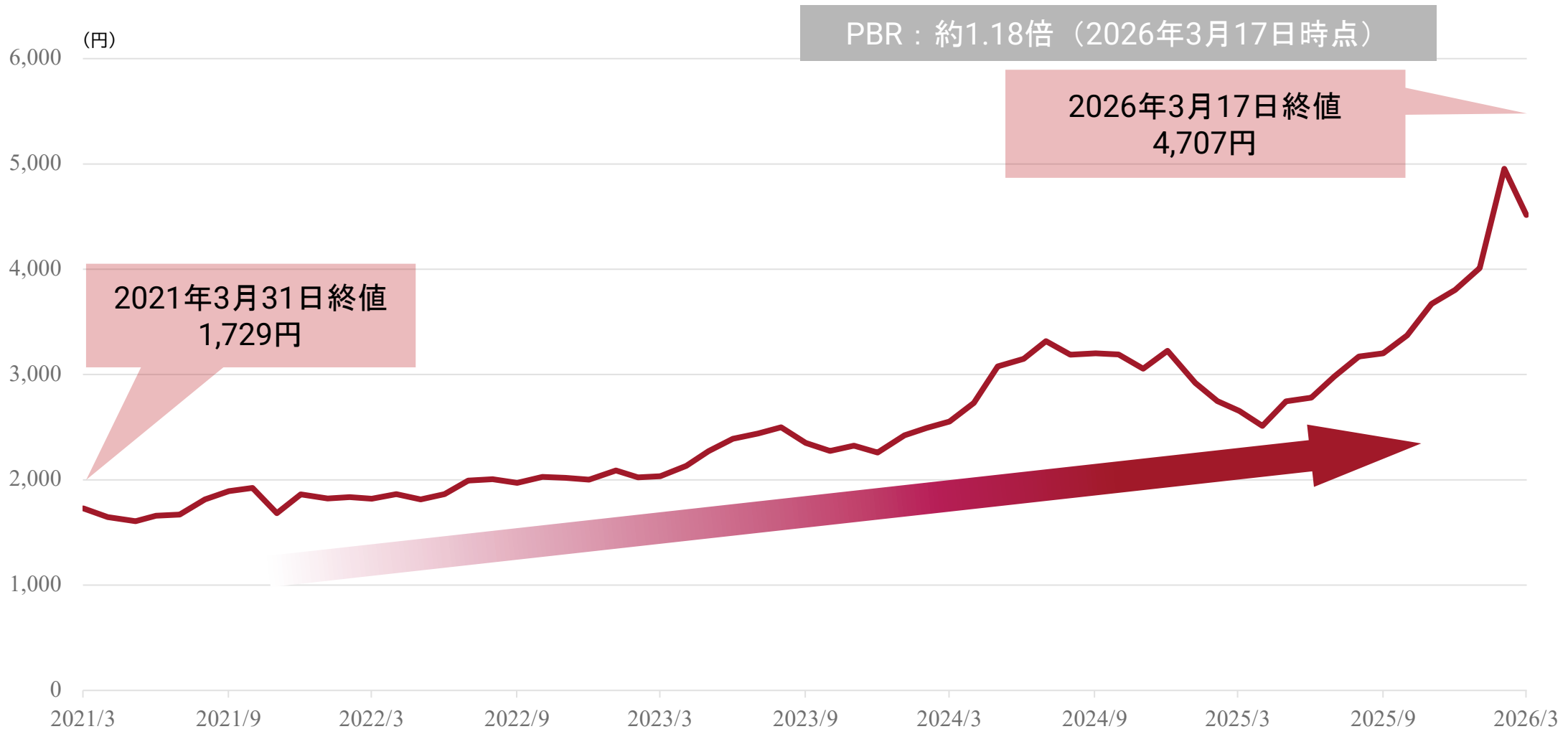
自己資本比率49%(2025年3月末時点)
特定の市場・地域に依存せず、バランス良く収益を稼ぐ

株主還元

2024年度、2025年度の2年限定で総還元性向100%を掲げる
2025年度の1株当たり配当金は中間45円、
期末55円の年間100円を予定(16期連続増配見通し)

▶ 株価の推移

成長戦略と資本戦略の両輪で企業価値の向上を図る



*PBR (株価純資産倍率) : 株価が割安か割高かを判断するための指標。(株価÷1株当り純資産)。
上記PBR算出にあたって、株価は2026年3月17日終値を、1株当り純資産は2025年12月末時点を使用



今のわたしも、
未来のあなたも。

個人投資家向け 会社説明会

長瀬産業株式会社

証券コード:8012

 **NAGASE**
Delivering next.

NAGASE | **Delivering next.**

■お問合せはこちらから

<https://www.nagase.co.jp/contact/>

■当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.nagase.co.jp/ir/>

当プレゼンテーション資料には、2026年3月18日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。